

コレクションが 出会う道東ばしょ

神田日勝記念美術館

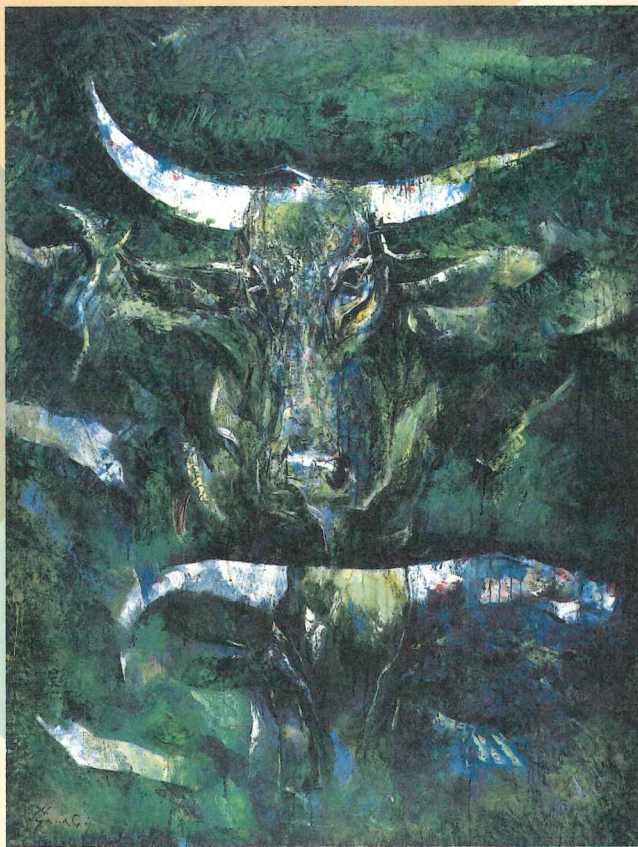


釧路市立美術館

所蔵作品交換展



神田日勝《牛》1964年、神田日勝記念美術館蔵



柳悟《烈聖牛》1974年、当館蔵

2024.4.27 (土) → 6.16 (日)

休館日 4.29、5.6を除く月曜日
開館時間 10:00-17:00 (入館は16:30まで)

一般 600(400)円 大学生以下無料

前売券取扱

釧路市生涯学習センター、MOOガイド(釧路)、コーチャンフォー釧路店、
釧路市民活動センター(わっと)、コーチャンフォー釧路文化ホール、くしろ演劇みたい会

* ()内は前売券および10名以上の団体料金 * 身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳の交付を受けた方および付き添いの方は無料

SNSフォロー割

当館のX(旧Twitter)アカウントのフォロー画面を受付で提示の方は2名まで100円引き(他の割引との併用はできません)

釧路市立美術館
Kushiro city Museum of Art

主催 釧路市民文化展実行委員会、釧路市立美術館、北海道新聞釧路支社
後援 NHK釧路放送局、FMくしろ、(一財)釧路市民文化振興財団
協賛 アートギャラリー協会



割引券

本チラシ持参の方
2名まで100円引

北海道河東郡鹿追町にある神田日勝記念美術館は画家・神田日勝(1937-1970)の作品や関連する十勝の作家の作品を所蔵している美術館です。一方で当館では釧路ゆかりの作家の作品、釧路を題材にした作品を中心に所蔵しています。

本展覧会では神田日勝記念美術館から作品をお借りし、両館のコレクションを組み合わせることで、道東地域の美術の一端を提示することを目指します。

普段同じ会場に並ぶことのないコレクションが出会う場所で、両館のコレクションとの出会いをお楽しみください。

作品上から

1. 望月正男《入り陽》1973年、当館蔵
2. 神田日勝《画室B》1966年、神田日勝記念美術館蔵
3. 松樹路人《静かな空間のなかに(広里より北斗をのぞむ)》1988年、当館蔵
4. 神田日勝《扇ヶ原展望》1968年、帯広信用金庫蔵(神田日勝記念美術館寄託)
5. 国松登《氷とけものたち》1979年、当館蔵



©Katsuaki Sato

神田日勝記念美術館

神田日勝の作品や資料を収集、保存、展示し、地域の文化振興に寄与するため、1993年に開館。当初の名称は神田日勝記念館だが、2006年に現在の名称へ改称。日勝の作品を展示する常設展や関連するテーマを設けた特別展を開催。2023年に開館30周年を迎えた。

関連事業のお知らせ

当館学芸員による
ギャラリートーク

日時: 4月27日(土)、6月8日(土) 11:00~(30分程度)
集合場所: 美術館ロビー(観覧券が必要です)

国際博物館の日記念ミニ講座
「美術館について知ろう!」

ICOM(国際博物館会議)が定める国際博物館の日を
記念し、美術館の活動をご紹介します
日時: 5月18日(土) 11:00~(30分~1時間程度)
集合場所: 美術館ロビー(観覧券が必要です)

特別ギャラリートーク

講師: 杉本圭吾氏(神田日勝記念美術館学芸員)
日時: 5月25日(土) 11:00~(30分~1時間程度)
集合場所: 美術館ロビー(観覧券が必要です)

詳細は美術館ホームページをご覧ください

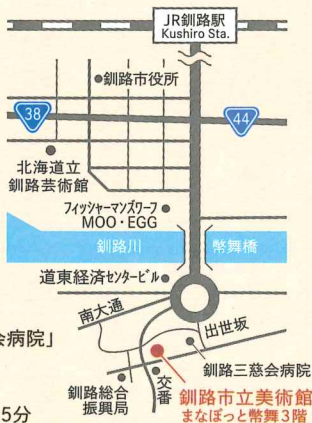
釧路市立美術館
Kushiro city Museum of Art

TEL 0154-42-6116 FAX 0154-41-8182
〒085-0836 釧路市幣舞町4-28



交通案内

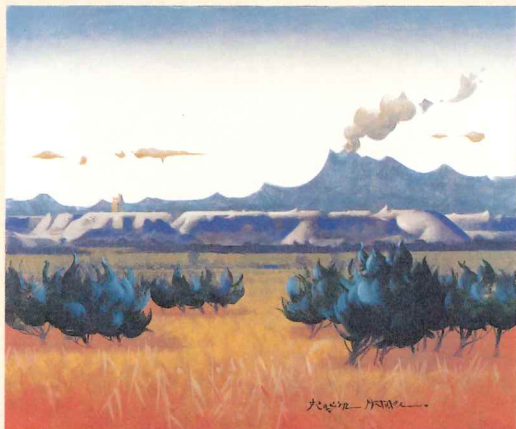
徒歩	JR 釧路駅から徒歩20分
タクシー	JR 釧路駅から約5分
バス	くしろバス停留所「釧路三慈会病院」 下車徒歩1分
釧路空港からバス	空港前停留所から約45分、 MOO バスターミナル下車徒歩5分



①



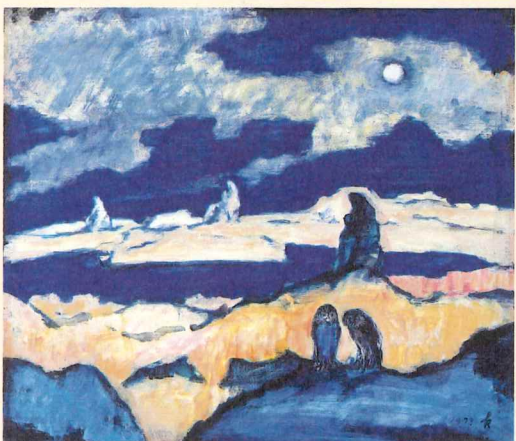
②



③



④



⑤

割引券
当日のみ有効
他の割引との
併用はできません